東北大学病院

がん遺伝子パネル検査受診のための必要書類・検体についてのご案内
（自由診療による検査について）

がん遺伝子パネル検査では、現在のところ検体を準備してから検査の結果が出るまで約１ヶ月程度、当院でのがんゲノム診断カンファレンスを経て結果を患者さまへお返しするまで約１ヶ月半～2 ヶ月程度かかります。標準治療外の薬剤のご提案が可能であっても保険適応外となるため、臨床試験の検索を含め薬剤使用の可能性について様々な議論をしなければなりません。そのため、我々は検査を受ける患者さまは、少なくとも 3 ヶ月以上の予後を見込める方としております。

検査に必要な検体の準備ができない方、厳しい予後予測の方など、がん遺伝子パネル検査不可能と判断される場合は、その旨ご担当の先生からご説明をお願いいたします。

検査可能と判断された場合は、同封しております「がん遺伝子パネル検査診療情報提供書、直近の採血データ、CT 画像、病理検体、病理レポート」のご準備をお願いいたします。

当院で施行している自由診療の検査は下記の 3 つです。価格、検体の条件、検査期間を下記にご紹介いたします。

1. MSK IMPACT（約 68 万円）
・手術検体が必須（生検検体は不可）、腫瘍部と正常部の 2 種類必要
・腫瘍部 HE と未染スライドおよび正常組織 HE と未染スライド
（HE はそれぞれ 1 枚、未染スライドはそれぞれ 20 枚）
・未染スライドは検体 5mm 角以上、薄切 4-5μm で 20 枚
（腫瘍部については腫瘍細胞占有率が全体の 10%以上であること）
・レポート返却は 6-8 週

2. オンコプライム（約 98 万円）
・手術、生検検体どちらも可能、腫瘍部のみで検査可能
・腫瘍部 HE と未染スライド（HE は 1 枚、未染スライドは 10 枚）
・未染スライドは検体が 2mm 角以上、 薄切 4-5μm で 10 枚
・レポート返却は 5-6 週

3. ガーダント 360（約 45 万円）
・採血検体
・レポート返却は 10 日程度

2.の生検検体に関しては、針生検の場合、病理診断後の残った検体では十分ではありません。診断のために新たに生検を行う場合は、貴院にて御施行いただき検体を送付していただきます。

また、下記の場合も検体不良で検査ができません。

・脱灰した標本（骨転移腫瘍や原発性骨腫瘍など）

・中性緩衝ホルマリン以外の緩衝作用のないホルマリンや酸性ホルマリンで固定された標本

・ホルマリン固定時間が長い（48 時間を超える）標本

・ホルマリン固定後 3 年以上経過している標本

・過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていた組織の標本

東北大学病院

がん遺伝子パネル検査受診のための必要物チェックリスト

☐ 診療情報提供書

☐ がん遺伝子パネル検査診療情報提供書

☐ CT 画像、採血データ(直近のものをお願いいたします)

【ガーダント 360 以外をご希望の場合】

☐ 組織検体(腫瘍含有率が 20%以上のもの)

（検体の腫瘍含有率は診療情報提供書に必ずご記入ください。）

☐ 病理レポート

各医療機関の皆様

検査を希望される患者さまがいらっしゃいましたら、がんゲノム検査予約申込書・診療情報提供書・がん遺伝子パネル検査診療情報提供書をご準備いただき、FAX：022-717-8663 までお申込みください。